

ひたむきに白球を追い続けた野球少年の夢…

そこに、友がいた



第57回全国高校野球選手権大会茨城大会竜ヶ崎一高野球部優勝記念
(1975年7月30日、茨城県営球場) 茨城新聞社提供

支えてくれた人たちがいた



優勝に沸く竜ヶ崎一高野球部応援団
(1975年7月30日、茨城県営球場) 茨城新聞社提供

夢の大舞台



第57回全国高校野球選手権大会開会式入場行進
(1975年8月8日、阪神甲子園球場) 茨城新聞社提供

その後、早稲田大学野球部では岡田彰布選手と同期、住友金属鹿島野球部で選手・監督として都市対抗野球大会に出場するなどの活躍をし、鹿島アントラーズでは取締役まで務めました。
高校野球で空前絶後の大記録を樹立した後も、夢に向かって歩み続けた彼の軌跡を写真を中心に資料や友人の証言を交え紹介します。

関口一行氏は、稲敷市出身で、竜ヶ崎第一高等学校野球部時代に全国高校野球選手権大会茨城県大会にて、54イニングス連続無失点記録を樹立して優勝、甲子園出場を果たしました。

新たな夢の舞台へ



東京六大学野球秋季リーグ戦早稲田大学野球部優勝記念
(1978年10月30日、明治神宮球場)

夢は続く



第54回都市対抗野球大会開会式入場行進
(1983年7月24日、後樂園球場)

スポーツマンの夢は、終わらない



鹿島アントラーズ取締役退任、送別セレモニー
(2022年4月23日、茨城県立カシマサッカースタジアム、ルヴァンカップホームゲーム後)